

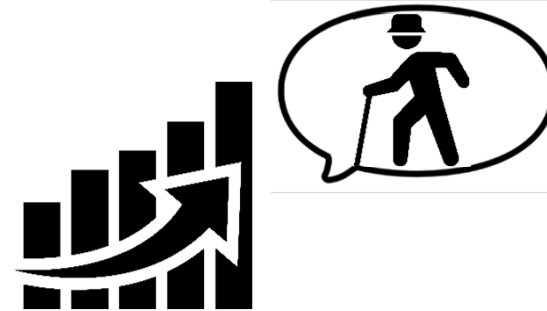
川崎市における 地域包括ケアシステムの構築

令和5年9月1日（金）

地ケア構築が必要となる背景

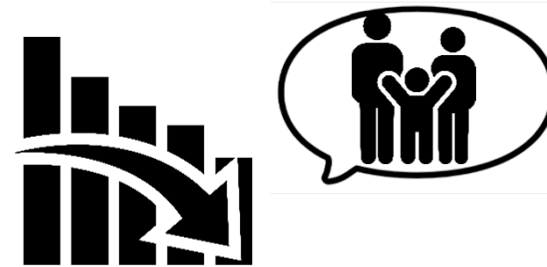
高齢化の進展

- 医療・福祉ニーズの増加による病床ひっ迫
- 福祉サービスが受けられない



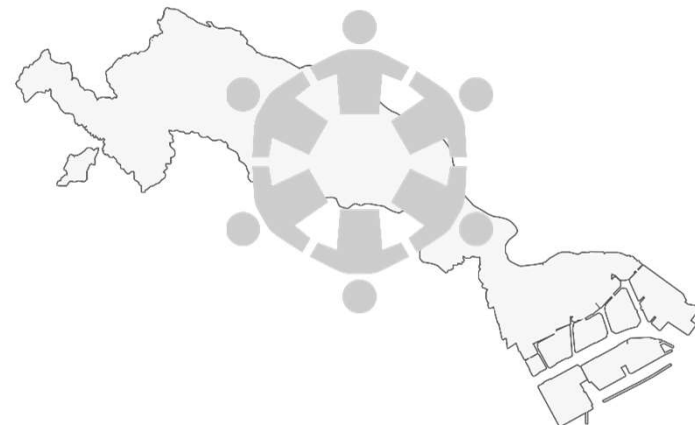
少子化の進展

- 税収や担い手の減少により公共サービス等
の維持が困難



地域関係の希薄化

- 地域で困りごとを抱えていても支援機関等
につながらず、助けを得られない



地ケア構築が必要となる背景

高齢化の進展

生活課題の縮減

- セルフケア（予防、生活環境の改善等）
- 重度化防止



少子化の進展

支援体制の効率化

- 多様な主体の活躍
- サービス提供の効率化（ICTの活用等）



地域関係の希薄化

地域力の向上

- 従来地域で機能してきた、支え合いの
関係の回復



誰もが住み慣れた地域や
自らが望む場で安心して
暮らし続けることができる
地域の実現



地ケアの構築に向けた市の取組

意識づくり



セルフケア（健康づくりや相談先の周知など）、
見守り・支え合いの意識の醸成 など

地域づくり



住環境の整備や近隣とのつながりづくり、
生活支援の担い手づくり など

仕組みづくり



効率的・効果的にケアを提供するための取組、
地域資源の状況把握等のマネジメント など

地ケアの取組の方向性(ロードマップ)

2017
年度まで

第1段階 (土台づくり)

- 推進ビジョンの考え方の普及
- 地域みまもり支援センターの設置・事業推進
- 地区カルテの作成等による地域資源の見える化

現在

2025
年度まで

第2段階 (システム構築期)

- **地域の各主体が、それぞれの役割に応じて具体的に行動できるようになることを目指す。**

第3段階 (システム進化期)

2040年
を視野に

- 今後の社会変容（デジタル化・スマート化等）を意識しながら、取組を進めていく。
- 今後見込まれる医療・介護ニーズの増大・多様化を見据え、介護予防に限らない予防的な視点を重視し、民間企業等も含めた地域の多様な主体による、誰一人取り残さない包括的な支援体制づくりを進める。

第2段階における現状と課題

◆各種統計情報から

- 住民や民間企業等におけるセルフケア・介護予防の意識の高まり
- 地域のつながりづくりや活動参加に向けた意識の低下
- 地域活動の継続を困難と感じている団体の増加
- 支援の担い手である専門職人材不足
- 家族構成の変化等による、孤立・孤独、引きこもり、いわゆる8050ケース等の複雑化・複合化したニーズや、ヤングケアラー等の既存の制度の狭間になるニーズの増加による「困りごと・生きづらさ」の多様化

◆ 参考統計

	R4
• 健康のために意識して何か実践している人の割合	96.5%
• 介護予防の取組として何か実践している人の割合	74.9%
• 近所づきあいや地域交流を必要だと思う人の割合	43.9%
• 活動する中で困っていること <u>(新たなスタッフが確保できない)</u>	48.6%
• 活動する中で困っていること <u>(スタッフが高齢化している)</u>	48.3%
• <u>従業員の不足感 (介護保険事業所)</u>	79.8%
• <u>職員の新規採用が困難 (障害福祉サービス事業所)</u>	69.0%
• 地域福祉の推進に向けて <u>行政が取り組むべきこと (サービスが利用できない、結びつかない人への対応)</u>	49.8%

※ 川崎市地域福祉実態調査、高齢者実態調査、障害のある方の生活ニーズ調査、健康意識実態調査

地ケアの取組の方向性(ロードマップ)

2017
年度まで

第1段階 (土台づくり)

- 推進ビジョンの考え方の普及
- 地域みまもり支援センターの設置・事業推進
- 地区カルテの作成等による地域資源の見える化

2025
年度まで

第2段階 (システム構築期)

- 地域の各主体が、それぞれの役割に応じて具体的に行動できるようになることを目指す。

2040年
を視野に

第3段階 (システム進化期)

- 今後の社会変容（デジタル化・スマート化等）を
意識しながら、取組を進めていく。
- 今後見込まれる医療・介護ニーズの増大・多様化を見据え、介護予防に限らない予防的な視点を重視し、民間企業等も含めた地域の多様な主体による、誰一人取り残さない包括的な支援体制づくりを進める。

第3段階を見据えた連絡協議会の取組

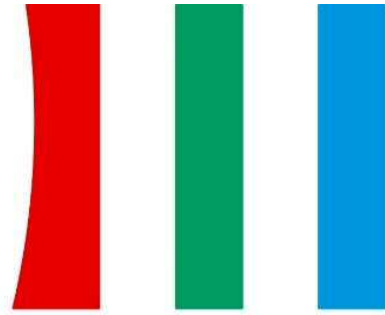
●ワーキンググループにおける検討

- 課題解決に向けたプロジェクトを生み出すため、令和3年3月に参画団体による「ワーキンググループ」を設置し、検討を進めてきた。

- 事例検討を通じた介護離職防止等リーフレットの作成（令和4年度）

- より一層の民間サービスの周知・活用に向けたイベントの開催を予定（令和5年度中）

ワーキンググループ参画団体・企業名等
NRE新川崎弥生テラス
川崎市介護支援専門員連絡会
（社福）川崎市社会福祉協議会
川崎信用金庫
（社福）川崎聖風福祉会
（株）ケアネット
（株）セブン-イレブン・ジャパン
セレサ川崎農業協同組合
東京ガスネットワーク（株）川崎支店
東京電力パワーグリッド（株）川崎支社
富士通Japan（株）
（公社）フードバンクかながわ
ヤマト運輸（株）川崎主管支店



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市